

山田 健 様 11, 4, 19

先日の総会での各OBの近況発表で、私の今シーズンのスキーは、来週奥志賀高原に「一本杖スキー」を見学にゆくことで終わり、延べ26日になると云いました。

その奥志賀高原の「一本杖スキー」ですが、今年は日本スキー発祥100周年なのだそうで、それを記念したイベントの一つで、高田（上越市）の「レルヒの会」による「一本杖スキーのデモンストレーション（1月より計4回催行）」の最終回が11日に行われるのを見学するのが目的でした。現地では、主催者の杉山進さんとレルヒの会の皆さんから予想外の歓迎を受け、望外の感激の一日を過ごしました。杉山進さんと云っても山やの皆さんはご存じないと思いますが、氏は1956年のコルチナダンペツオの冬季オリンピックの2名のアルペン選手の一人（猪谷選手が回転で銀メダル）で、その後、チロル、サンクリストフのオーストリア国立スキー学校で指導技術を学び、志賀高原で杉山スキースクールを主宰された日本のスキー指導者的第一人者です。

イベントの動画が奥志賀高原のブログに載っていましたので添付いたします。余り参考にはなりませんが老OBのトピックスの一つとしてご覧くだされば幸甚です。 金井健二

一本杖スキー デモンストレーション動画 <高田レルヒ会> (第4回)

http://www.okushiga.jp/news_and_events/blog/post-193.php



スキーが日本に伝えられてから百周年目の今年、奥志賀高原スキー場では当時の写真展と合わせて当時のスタイルである一本杖によるスキーのデモンストレーションが行われました。2月21日に続き、4月11日に行われたデモンストレーションの様子です。また、貴重な写真もございます。

各技術をまとめてのデモと、杉山スキースクールの代表による現代の滑りのデモ、そして2:00あたりより、杉山代表によるスピーチ、金井さんについての発言もございます。



当日に参加下さった、レルヒ会の皆様方。

スキー滑走についてを書き記した金井勝三郎さんのお孫さんとひ孫さん。

この金井勝三郎さんの書いた書籍を元に、高田レルヒ会の方々は学ばれ・練習されてきたとの事です。

伝来百周年の貴重な機会、写真展はまだ行っていますので、是非ご覧下さい！

(奥滋賀高原)